



ひと はだ フレンド

Hitohada
Friend

成年
コミック

作
一色緑 **1**



推しのアクキーが
あれば金曜日
でも頑張れる

前回のコラボ
瞬殺だった
もんなあ…

キエ

ガサ

まだあって
良かった…



あ…
エゾシカちゃん



え？

知ってるも何も
やってるよ
今超人気
だよ



ええと…
このゲーム
知ってるん
ですか？



そうなん
ですネ…

この部署あんまり
ゲームやる人
いないんで

清下さんが
やってるのは
意外です

ねえ今日
飲みに行かない？

この人は清下彩乃さん
確か何個か上の先輩で
美人で気さく
ときたものだから
部署でも人気者だ

シカちゃんの
話しようよ

俺とは縁のない人だと思って
今まで業務以外で特に
関わることはなかった

は？

は…はい

ほんと？

ヒラ

それじゃ
また後でね！

え？

ポカーン

？

は…？
どゆこと…？



でもまさか
清下さんに
誘われるとは
思いませんでした…

会社なら
他にいっぱい
男いるのに

そう？

なんていうか
うちの会社の男って
妙にギラギラした
タイプ多いから…

たしかに
ツープロックで
色黒でジム通って

腕時計とか
こだわりそうな
タイプ多いです
もんね

何その
偏見…

でもなんか
わかるかも…

だんだん寒く
なってきた
人肌は恋しいけど

ギラギラした人
苦手だから

寒くなると
人肌恋しくなるって
いいますもんね

俺とはゲームの話
したいだけっぽいし
どうせ相手にされないから
早めに退散しよう…







ほら
ハグの練習

あ…ハグ？
ハグね…

まずは女に
慣れればその子にも
声ぐらいかけられるん
じゃない？

はあ…

じゃ…じゃあ
失礼します

どうぞ

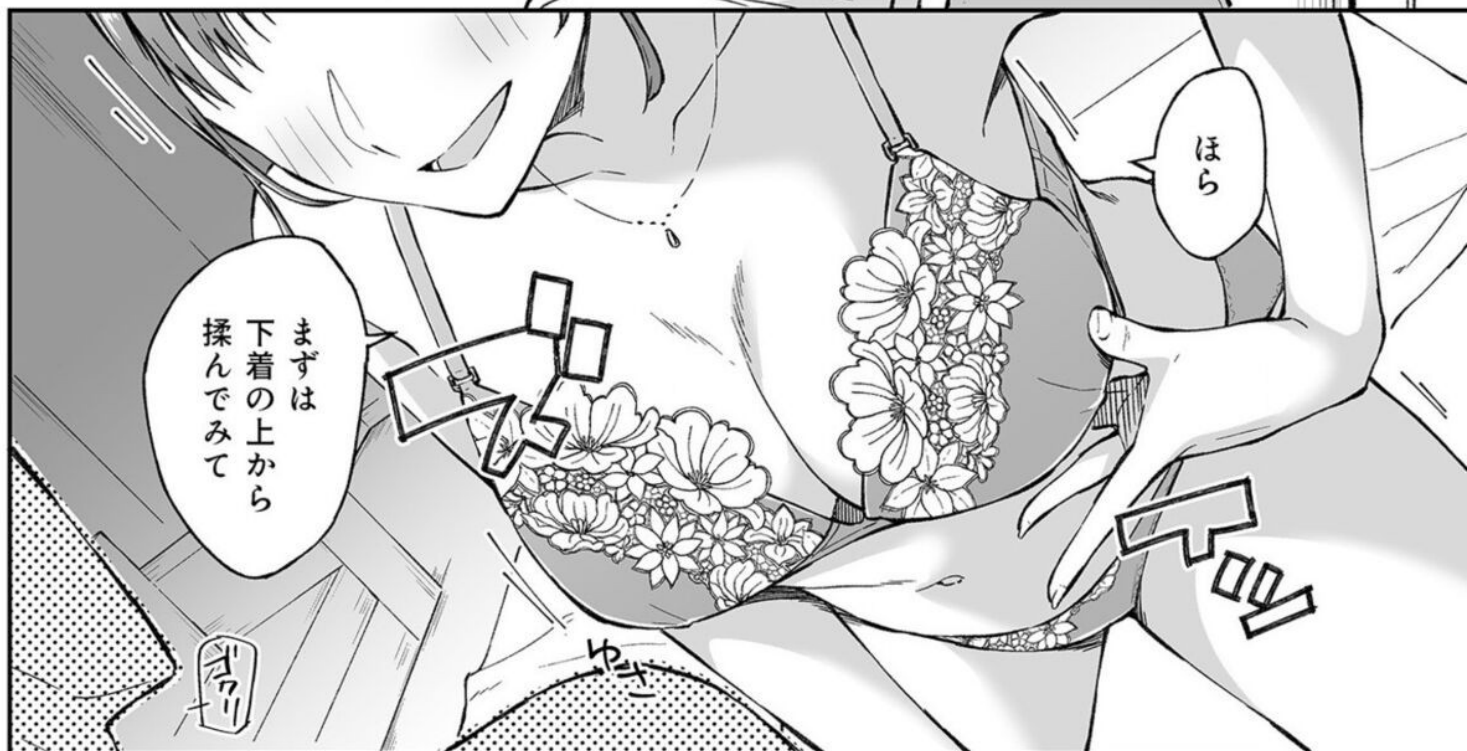
グワッ





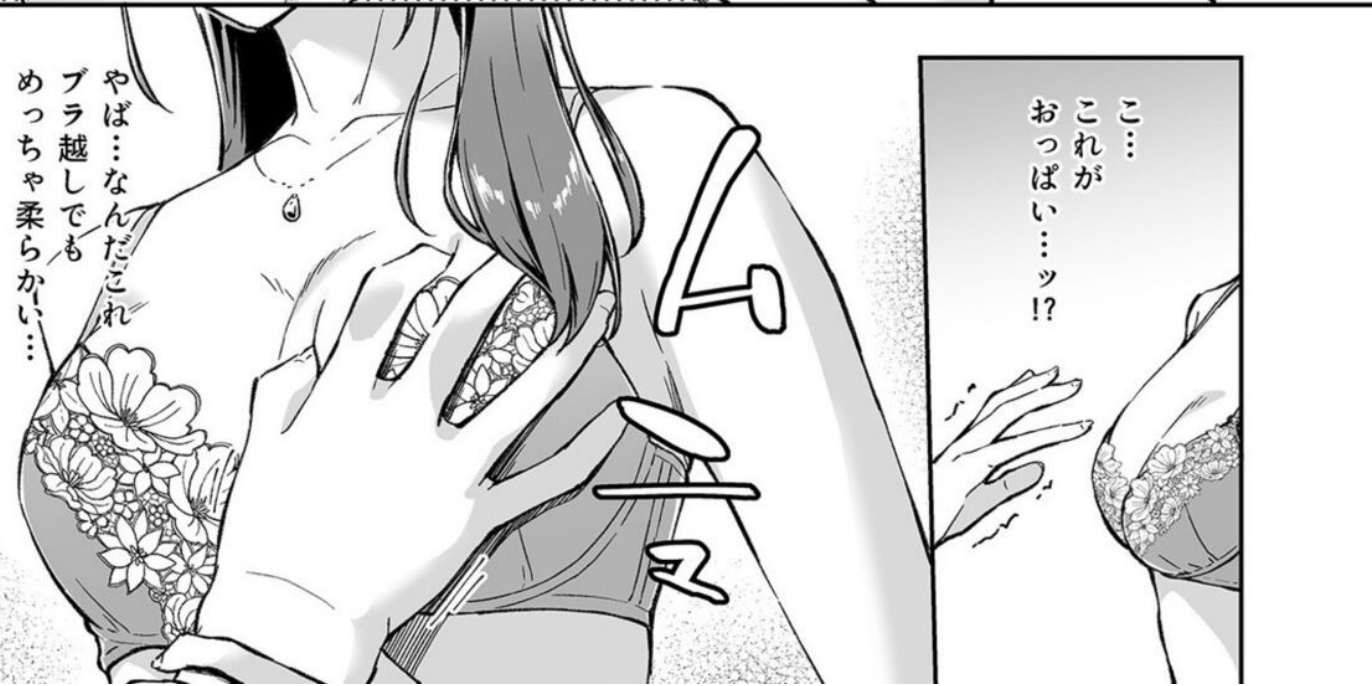


酔ってるせいか
人肌とキスで
ポーッとしてきた



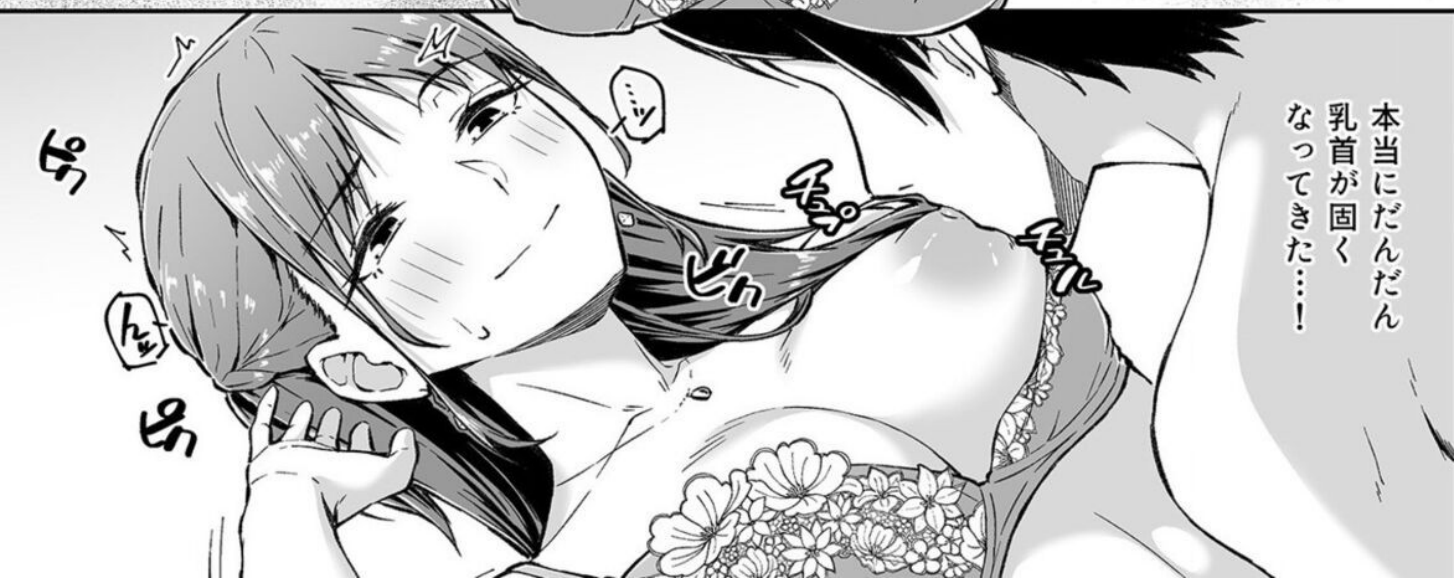
まずは
下着の上から
揉んでみて

はら



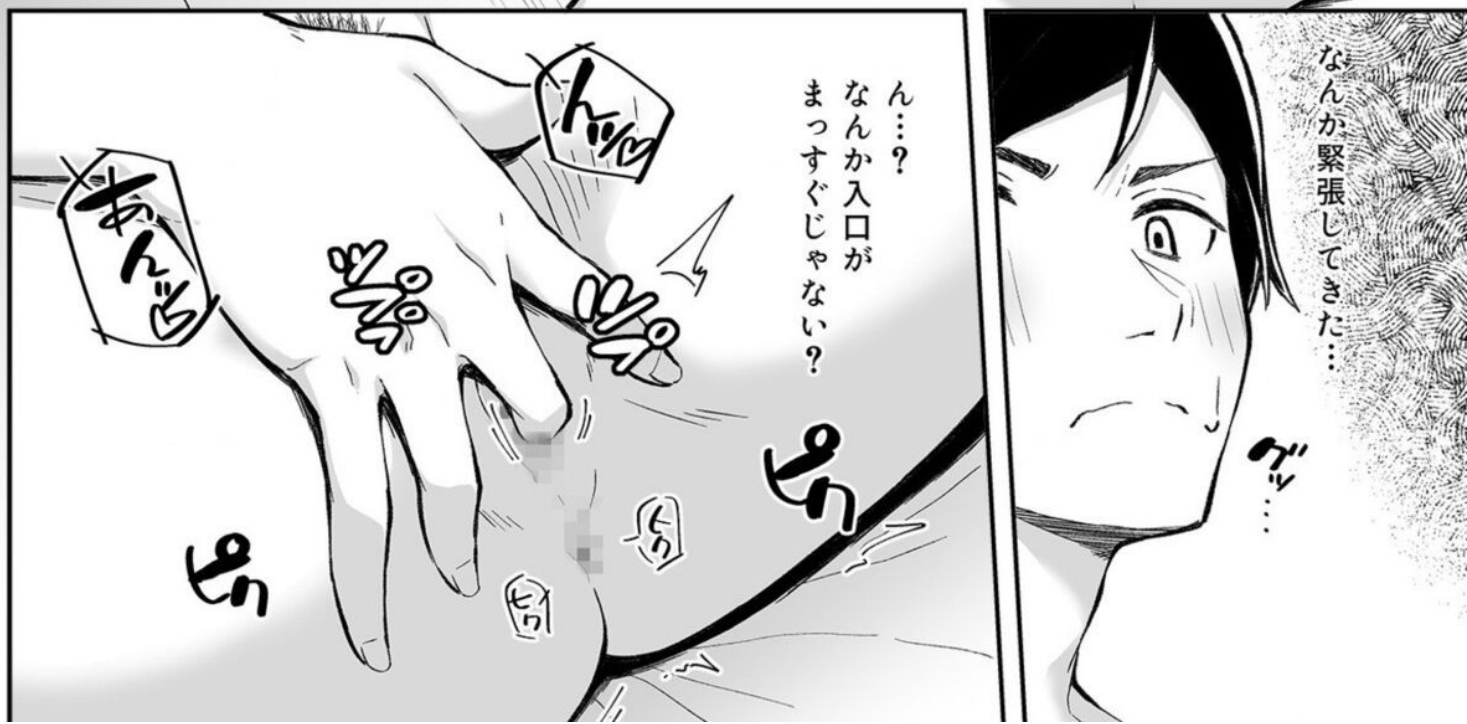
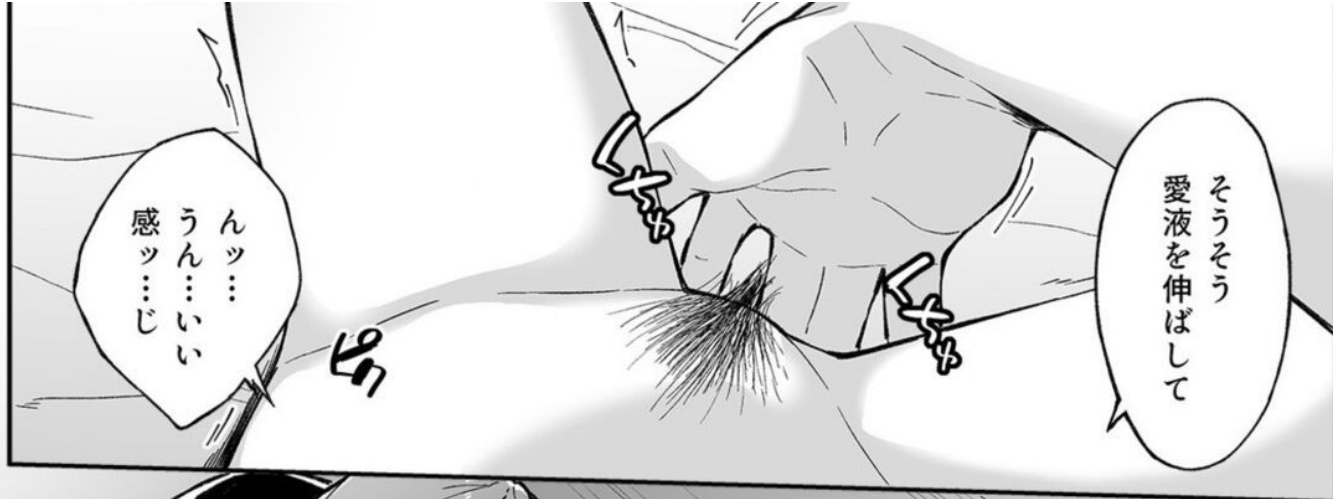
やば...なんだこれ
ブラ越しでも
めっちゃ柔らかい...

こ...
これが
おっぱい...ッ!?











ヤバイ...
感じてる清下さん
めっちゃカワイイん
だけど...



今度は
挿入れて
みよっか



ザラザラで
ヌルヌルしてます

ちゃんと中まで
ヌルヌルなら

どんな
感じ?



もう…ちょっと
下…そう…そこ

ゆっくりね

お…!
入って…ッ

夢じゃないんだよな…

ありがとう…
ございます

俺がこんな美人と
セックスしてるとか…
しかも初めてで…

卒業おめでと
小森君

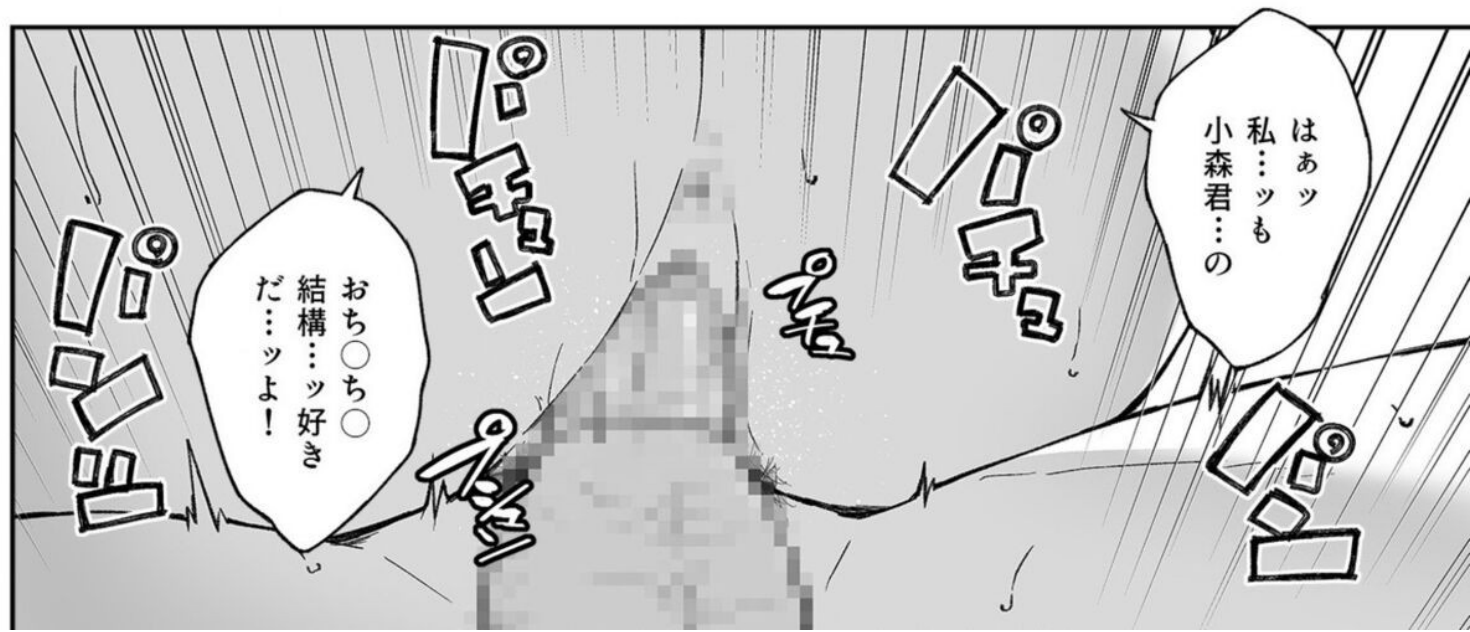
わゝ真っ赤に
なってる
かわいい





挿入った…ッ







清下さん見かけによらず
めっちゃエロいんだな...



気持ちッ：
い...いです
けどッ！

俺...ッ
もうそッ...ろ
そろ...！



ぐッ...あッ
も...もう！

ゴムッ...してる
んッ...だから
膣内...ッでビューって
してご...ッらん

出ちやいそう？

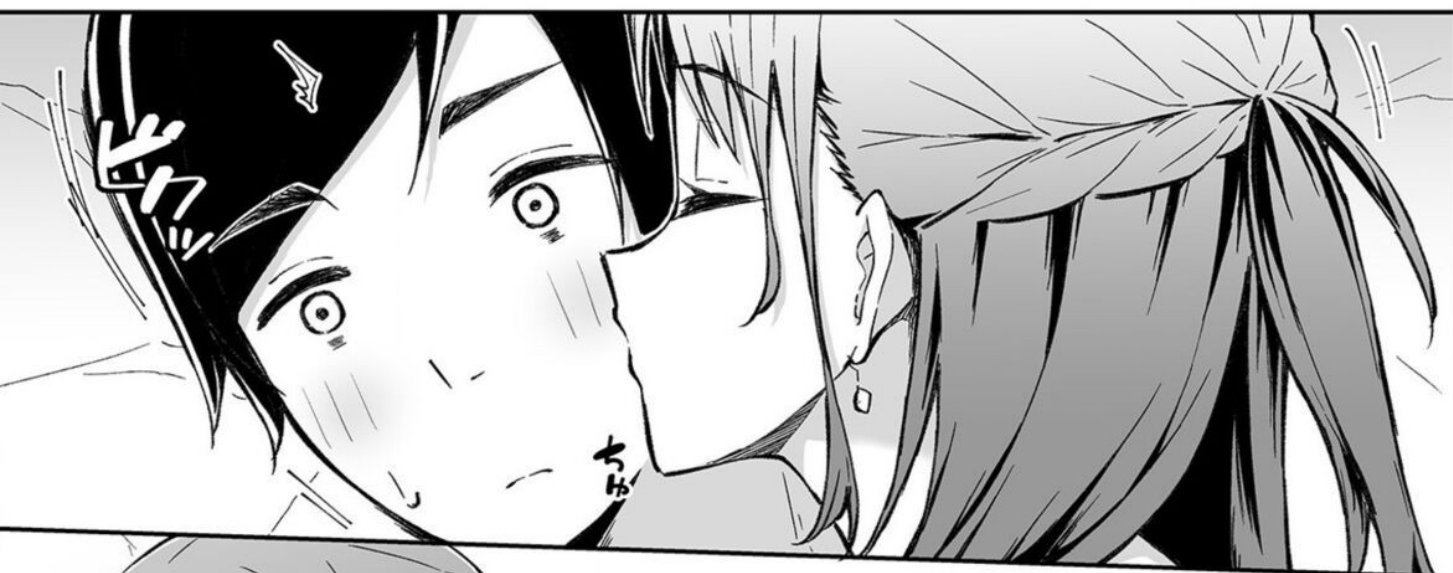


どう...ッ？
小森ッ...くん

気持ち...ッ
良い...ッ？



でッ…射精る!





えっ!?

また人肌
恋しくなったら
付き合ってくれる?

ねえ

クルン

昨日はお酒の
勢いもあったけど
凄いことしちゃったね

そうですね…



なんていうの

ポカーン…

人肌友達?
みたいな



って…答え
聞かずに
行っちゃったよ

また来週ね



ひとはだフレンド(1)

著者 一色緑

発行 プレステージ出版  COMICS

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。

★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。



ひとはだ
フレンド

Hitohada Friend

成年
コミック

作
一色緑 **2**









そういう清下さんは
どうなんですか？

うん…まあ
多少は…ね

でも色々あって
男の人は得意じゃ
なくなっちゃった
いうか…

？



大学時代に
付き合ってた人がさ

友達も多くて
サークル活動なんか
積極的で外面は
いいんだけど

いざ付き合うと
最初は優しいん
だけど

だんだん
ちよっとしたこと
でネチネチ言ってきたり
怒鳴ったりする
タイプでさ

陽キヤに案外
そういうタイプいる
って言いますね…



でもそれが二人きりの
時にしかないし

暴力とかはないから
証拠もなく
友達に言っても全然
信じてもらえなくて…

そしたらいつの間にか
私が悲劇のヒロインぶって
目立ちたいやつって
扱いになって…

そんなことがあったから
男のひとってどこまで
信じていいか
分からなくてさ…



私の言うこと
信じてくれるんだ



なんて言ったら
良いか分からない
ですけど

大変だったん
ですね…



清下さん
仕事はきっちり
やりますし—

女子社員も
いつもフォローして
もらって助かる
って話してたりで

嘘ついたり
しなさそう
だなって…



…ありがと

今度は
小森くんが
話してよ

前に気になる子
いるって言ってた
じゃん

俺すか…!?



私だけ話すの
ズルいじゃん



えと

隣の部署の
同期の子です…

ああ…あの
大人しそうな
可愛い感じの子かあ

最初に同期で
集まった時に
趣味が似た感じで
話があって

確かに二人なら
相性良いかもね

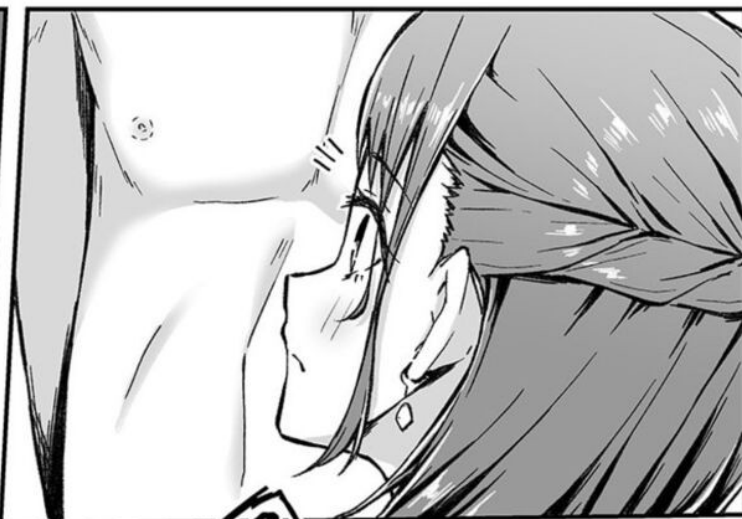
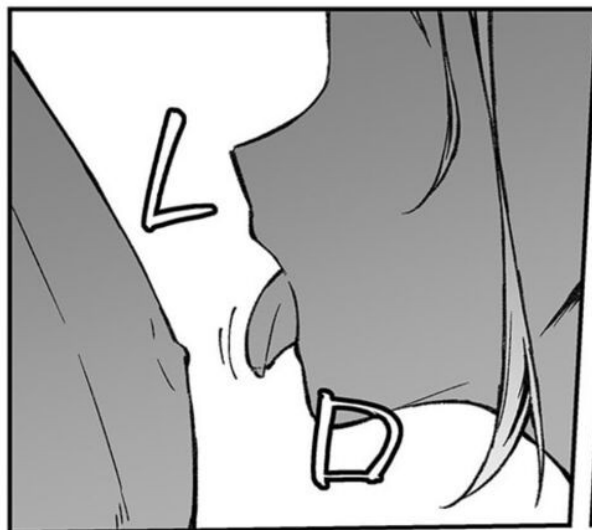
100%
と言っても
アニメやらゲーム
とかでちよっと
盛り上がっただけ
ですけどね

あんまり話す人
いないんで新鮮では
ありましたけど

ズッ

うお!!

ズッ
ズッ
ズッ







さつきより
おち○ち○が
いいところに
当たって…ッ!?



小森…くん
上手く…ッ
なっ…てて

くッ…膣内…
凄…くヌルヌル
…でッ!!

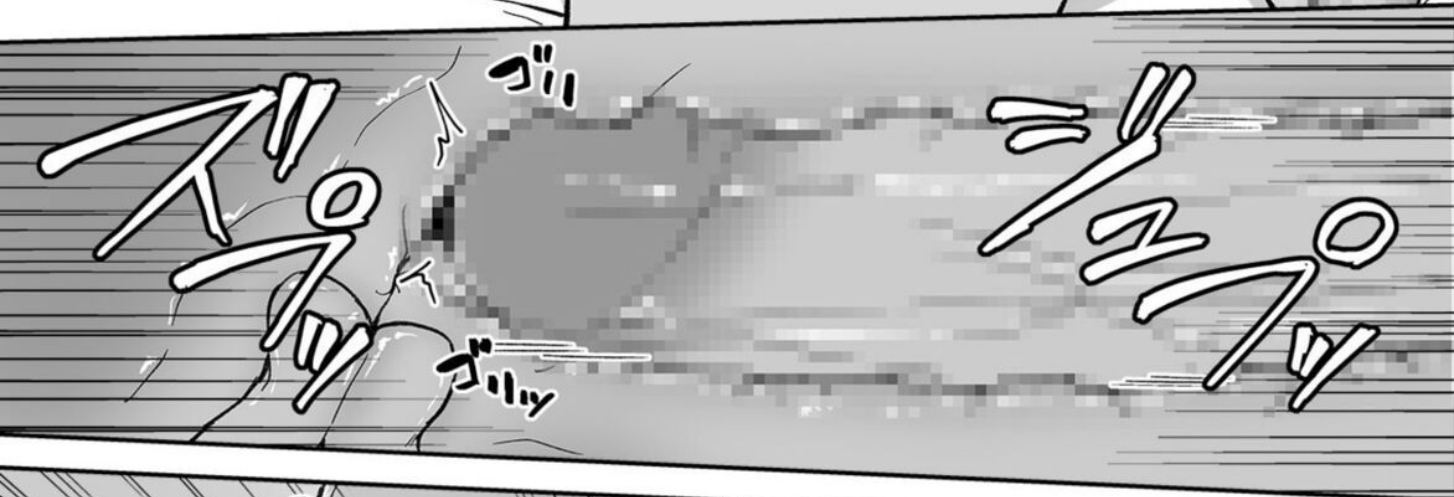
前よ…り
い…いよ…ッ!!

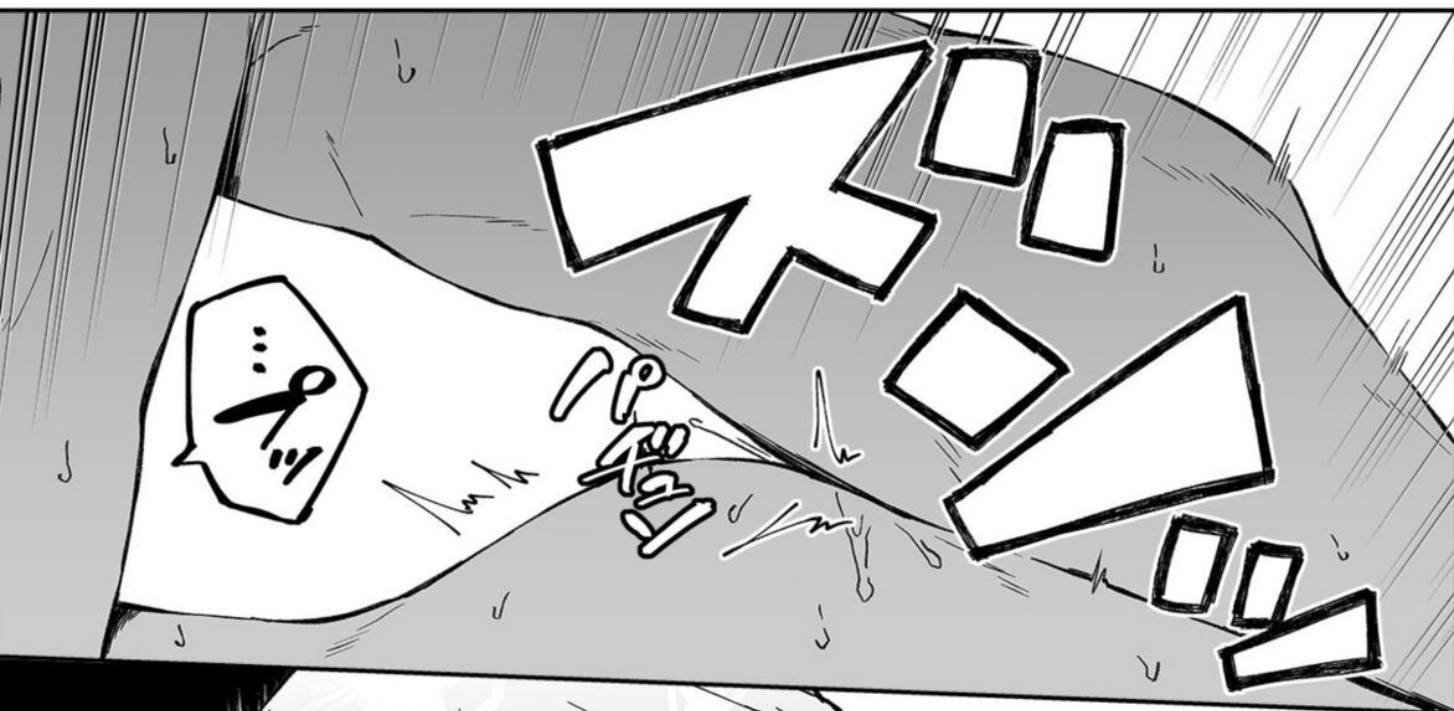


俺も…だいぶッ
慣れて…きて

膣内…の
感触と…かッ
凄く…キます!













前から...
してほしい...



...はい

好きな時…に
ピュって
してい…いよ!

いっ…っよ

私も…
そ…ろそろ
イッちやい…そう
だから…!

俺…
そろそ…ろッ

ほ…ら
乳首イジら…れ
ながッ…ら
イッちや…えッ!

くあッ……！
射精る……ッ！！





さつきバックで
ちよつとイって
ました…?

あの一
清下さん?

そういう
ことはいちいち
聞かないの…

反応が可愛かったので
つい激しくしちゃって…



小森くんより
先にイっちゃって
悔しかったの

そういう
もんですか…



教えてあげるって
言ったのに私だけ
先にイっちゃった
んだもん…

なるほど

こいつ
だんだんカワイく
なくなってきたぞ

ちょッ!
そこは!

ビクッ



うそ

やっぱり
カワイイ

ひとはだフレンド(2)

著者 一色緑

発行 プレステージ出版  COMICS

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

ひ

成年
コミック

と

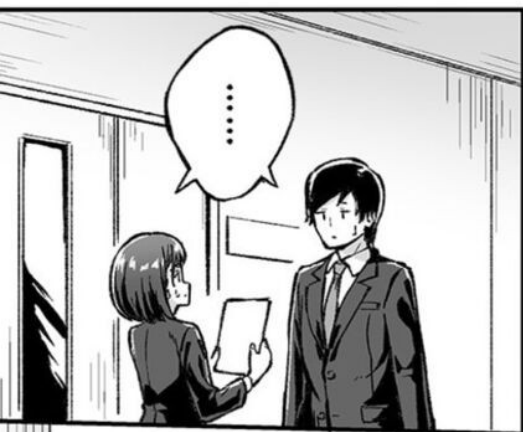
は

フレンド

*Hitohada
Friend*



作
一色緑 **3**



ビックリしたあ
清下さんか…

二人が
見えたから
覗いちゃった

改めて見たら
やっぱり可愛い
子じゃん

アプローチ
しないの…？

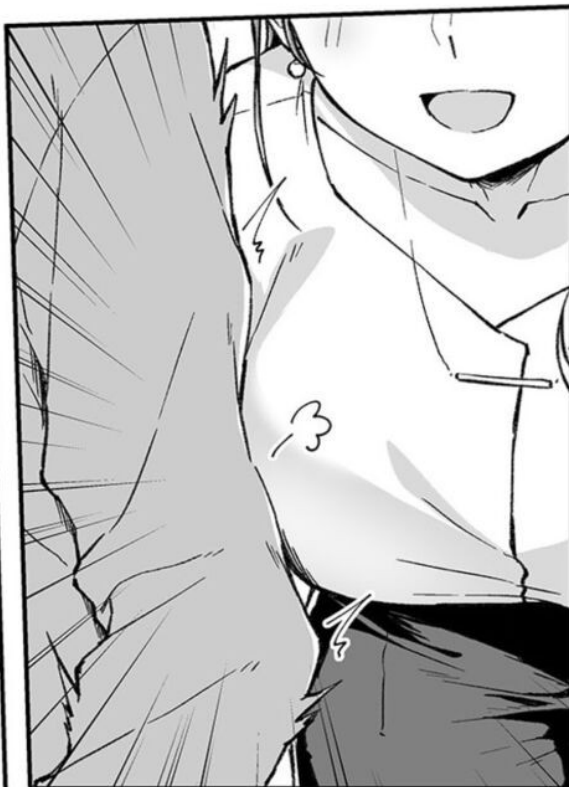
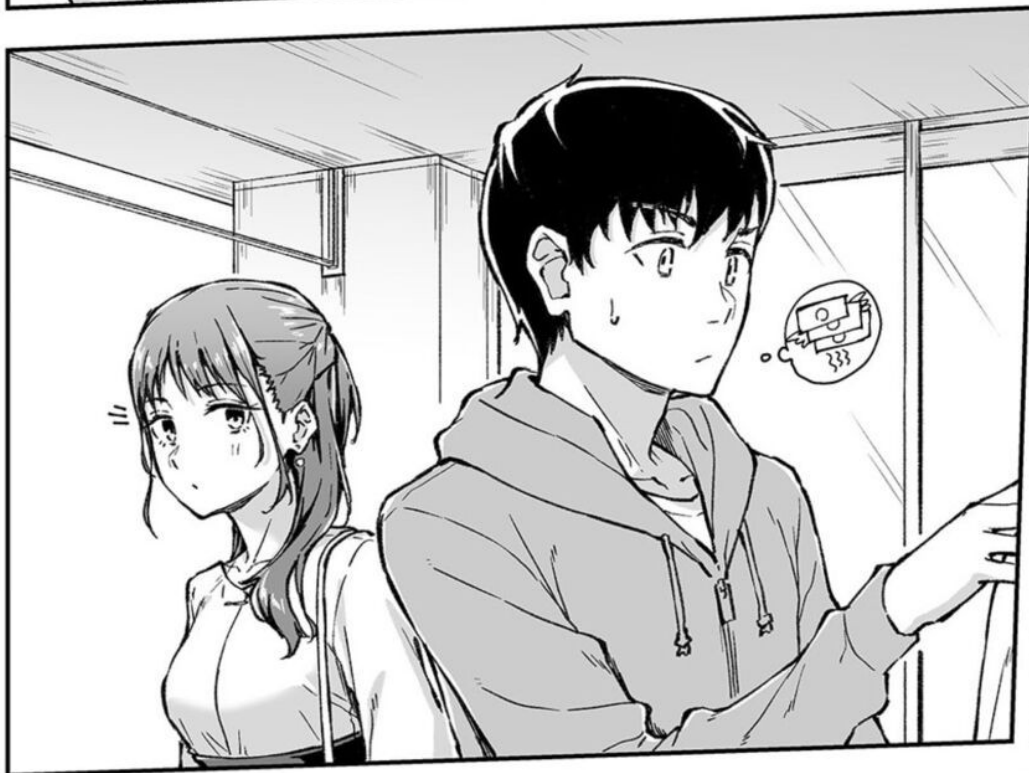
俺みたいなのが
いってもセクハラに
なりそうですし

そう？
と思ったけど
顔はそこそこでも

髪型とか
ちよつと
怪しいか…

けなすか
褒めるか
どっちかに
してください







これぐらいは
お安いご用
ですよ

私の分まで
持ってもらって
悪いね



でもこんなに
服とかにお金
かけたの初めて
です

うん…
小森くんは
趣味にばかり
お金かけてそう

ラッ…



これならあの子
誘ってもいいかもな…



ねえねえ
最後にあそこ
寄っていい？

どこですか？

え…？
は？

…って

うおおやばい…

落ち着かねえええ

買い物袋で付き添い感
出てるからなんとか
耐えられるけど…

清下さん
早くしてー…ッ

うーん…
どっちが
良いかなあ

ねえ小森くん
どっちが良いか
見てくれない？

いやいや
見れるわけ
ないでしょ!?

ほーら
いいから





着けてる
ほう…です

いつもホテルは
薄暗いから分がり
にくかったけど

めっちゃ
スタイル
いいな…

そっか
こういう感じが
好きなんだ



とか
言って



こっちは
すっごい
元気だけど？



いいから早く
試着終わらせて
くださいよ

ただでさえ
こんなところ
恥ずかしいん
ですから

うん

うん







サイズは問題
ございませんか？



はい
大丈夫です



なんか物足りない…

しかも音がしないように
ゆっくり刺激されるから



そうですね
特に問題
ないです

この人はなんで
俺のチ○コしごき
ながら普通に
会話してんだ!?



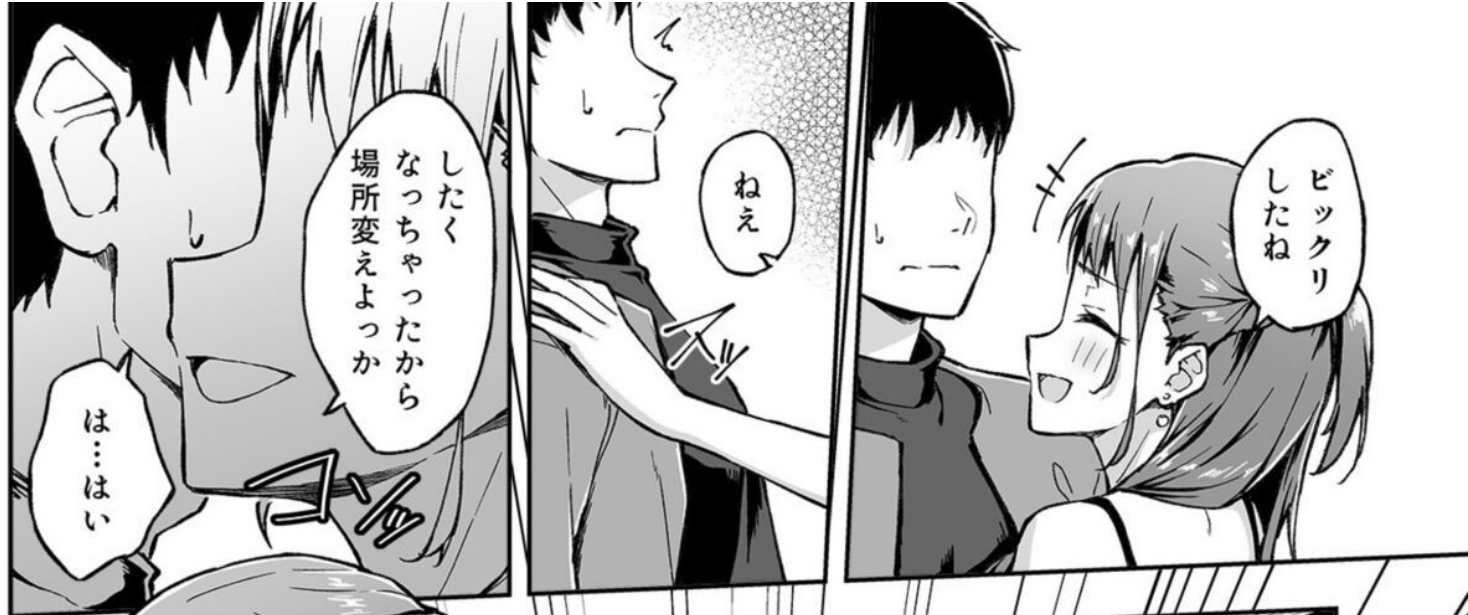
失礼しました
何かございましたら
お声がけください

はい
ありがとう
ございます



念のため
こちらで確認
いたしますか？

すみません
今ブラつけて
ないので







え？
ちょっと!?

さすがに
舐めるのは…ッ!!

嘘…待って
ニオイ嗅いで
るのッ!?

何キモチ悪い
こと言ってるの!?

こんなの
知らない…ッ!!

ツルツルした
布の感触…

アソコの
ニオイと…



下着好きなのは
分かったから!

私ももうガマン
できないの...

すみ
ません...



ツン...
ちよっと
浅い...



もう...そんなに
気に入ったの?

あんまり
ブラ引っぱら
ないの...



んッ...
挿入って...ッ



ねえ…これだと
奥まで来ないよ…

は…はい

ん…ッ
そう…これ

ズン



いつもより
すんなり奥まで
挿入しましたよ

そんなに
欲しかったん
ですね



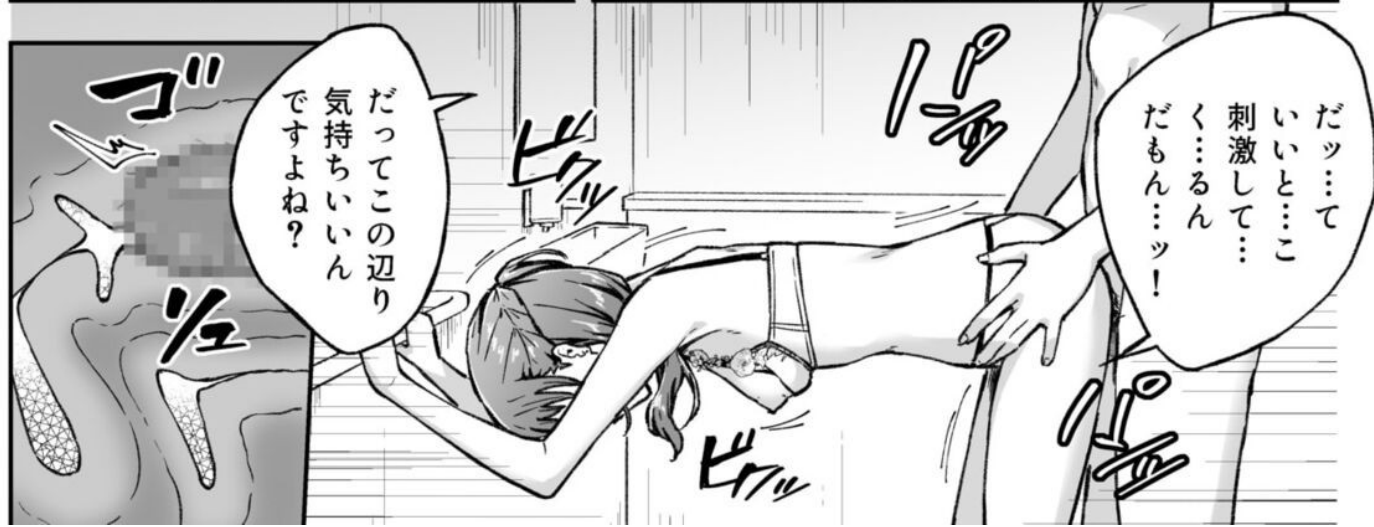
だか…らッ

そういうこと
はッ…きかない
…のッ!



なん…かッ
いつもより…
激し…いッ!

後ろから
見る下着が
思ったより良い
もので…





イ...
イツ...く!

やバツ...
そ...こッ!!



私だッ...け
先に...イツ
ちよっ...と
脚...力入らッ
...な

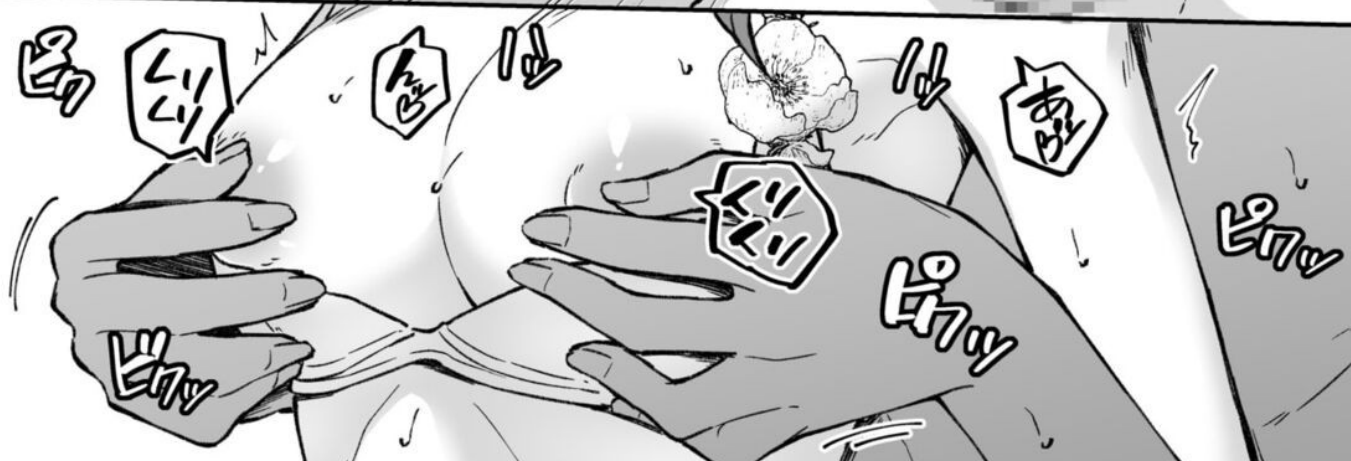
ごめ...ん

え...?
あの...



ダメだって
これ恥ずかし
すぎる！

しょうがない
ですね…









で...射精
するーッッ!!

ビッ

ビッ

ルル

グッ

グッ

X

ナッ



ひとはだフレンド(3)／おわり

ひとはだフレンド(3)

著者 一色緑

発行 プレステージ出版  COMICS

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

Hitohada
Friend

ひと はだ フレ ンド

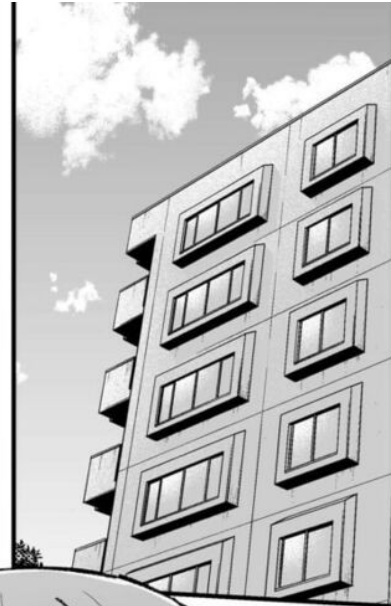
成年
コミック



kazushikimidori

一色緑

4



おはよう
ございます…

ん…



おはよ
起こし
ちゃった？

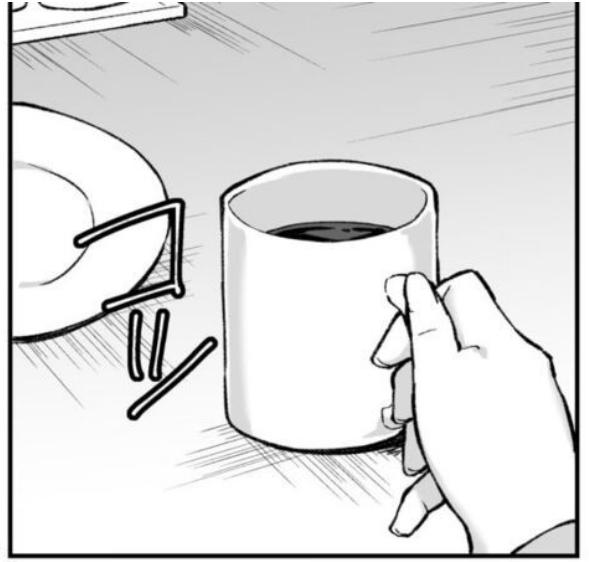
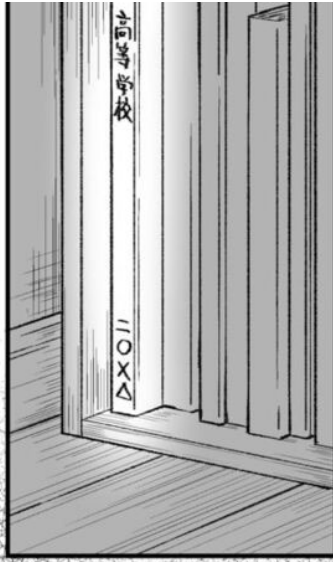


と言っても
もうお昼
だけだね

パンしか
ないけど
いい？

はい…
大丈夫です









え？



そうだ
制服あるよ



着てみせて
ください！

実家から
持ってきてる
んだ

え!?
なになに!?



さすがに色々
キツイって！

制服来た
女の子と
イチャイチャ
したいんです！

お願い
します！



笑わない
でよ…?

どう…?

やっぱり
ウエストとか
バストとか
キツイかも…

って…あれ?

こっせん





すごく大きく
なってるん
だけど…？



それに…



ゴッ

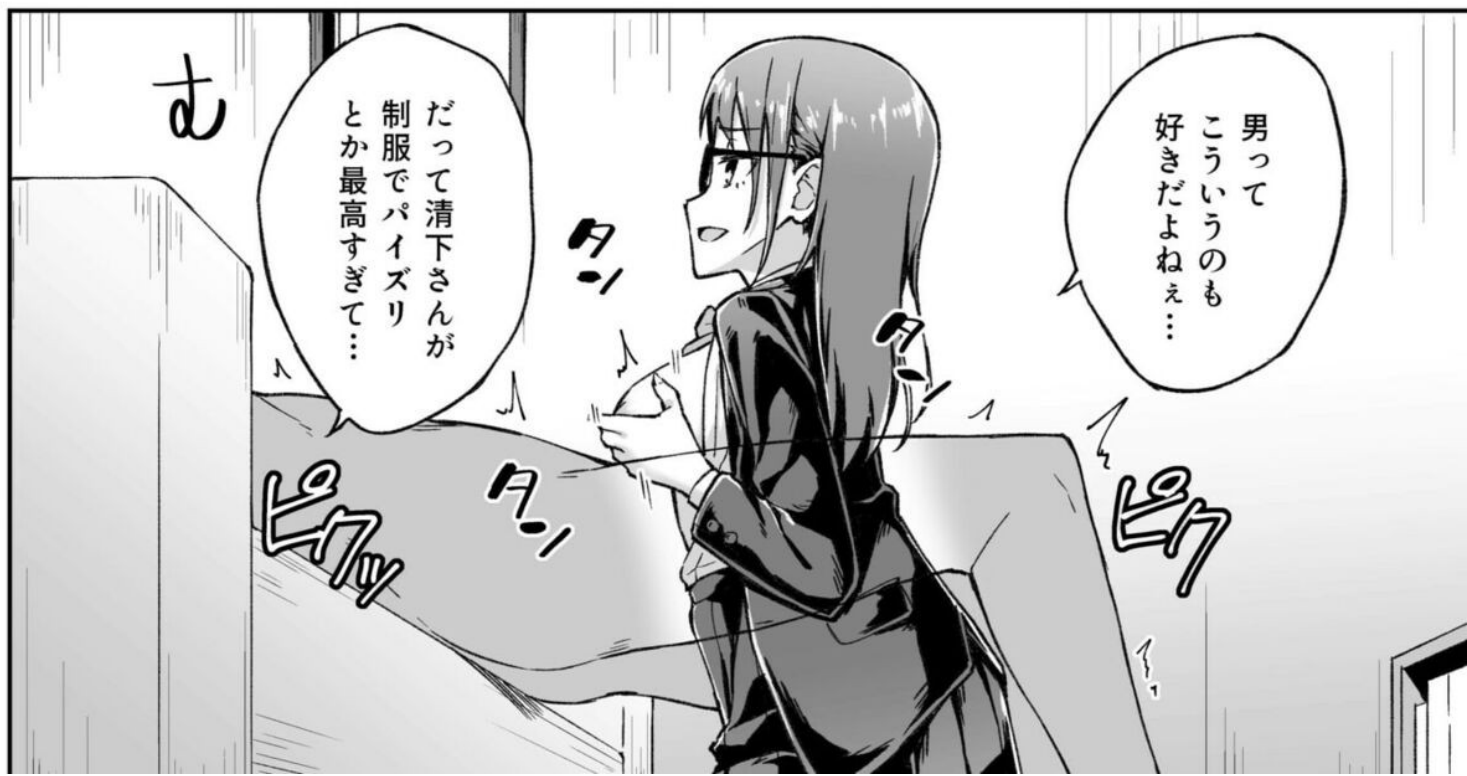


制服好き
なんだろ

ほんとなんで
男って



あの…
お願いが







あ...あれ?



興奮しすぎ
そんなに制服で
するの楽しみ
だったの?



私もしたく
なっちゃった...



こもり
小森
セーソパイ

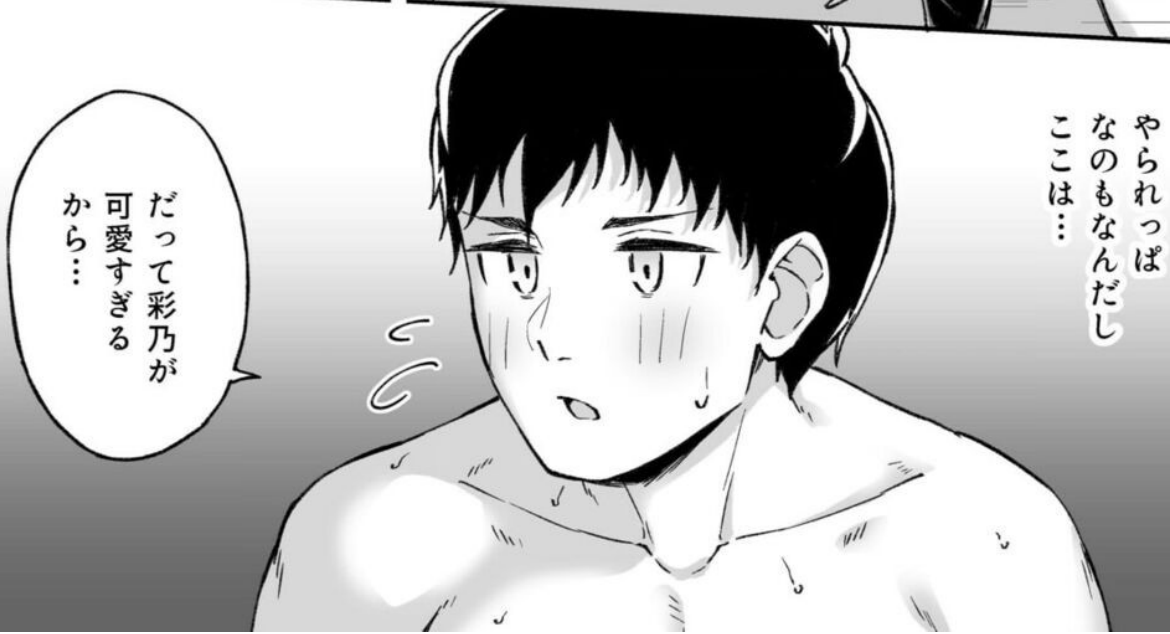
!?



ほら
ここだよ





















★この度は、本作をお買い上げいただき有り難うございます。
ご感想・ご意見等ございましたら、下記の住所までお送りください。

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-19-2-5F
株式会社プレステージ出版
「コミックス感想」係

皆様のお便りを心よりお待ちしております。

ひとはだフレンド(4)

著者/一色緑
発行/プレステージ出版

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネット
へのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

ウェブサイト・公式SNSで
最新情報をチェック!!



ウェブサイト



編集部公式X

ひとはだ Hitohada Friend フレンド 5

成年
コミック

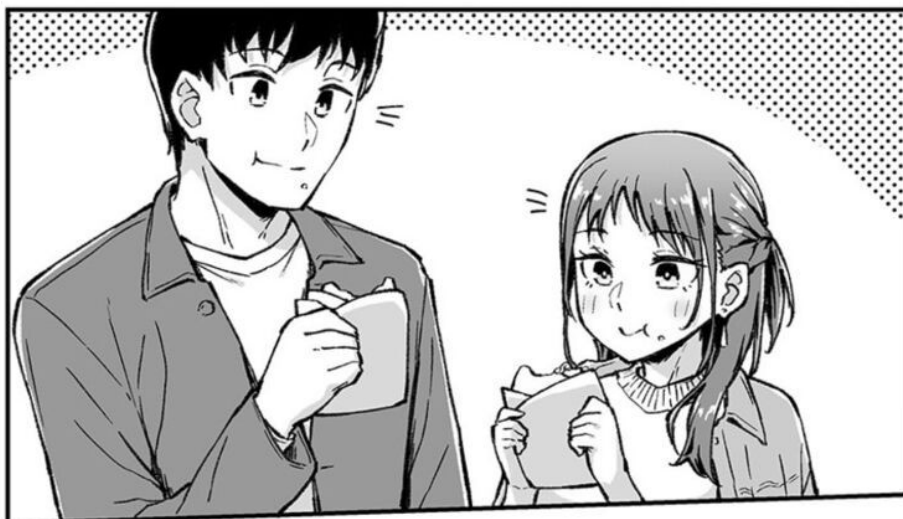
一色 緑
kazushikimidorii

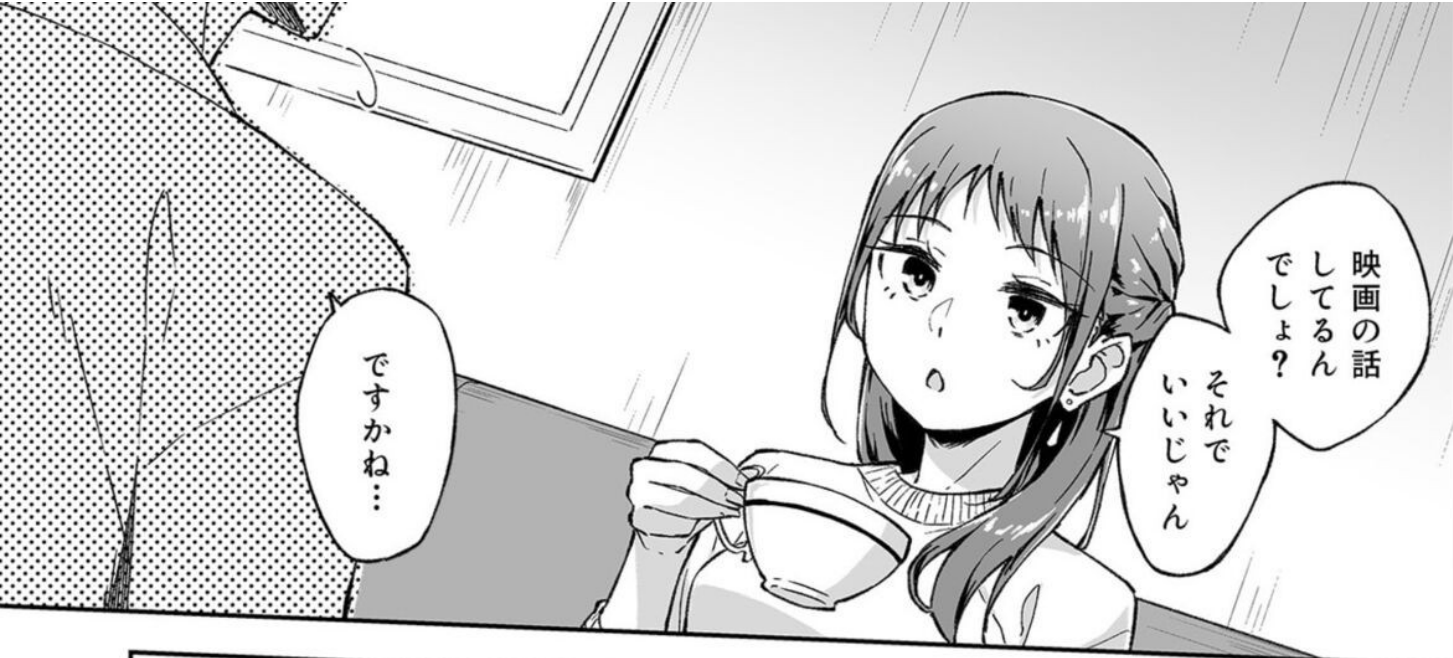


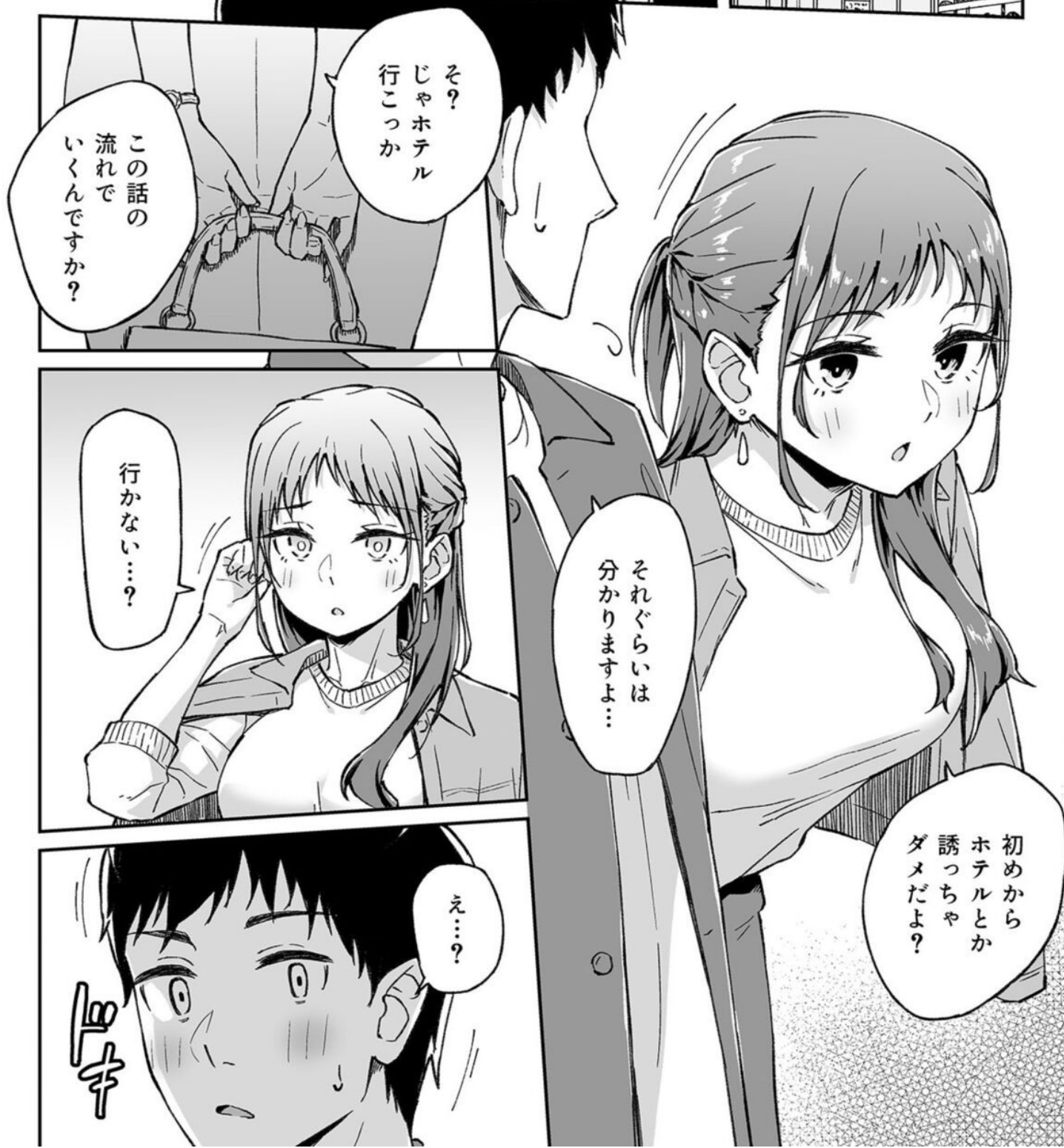
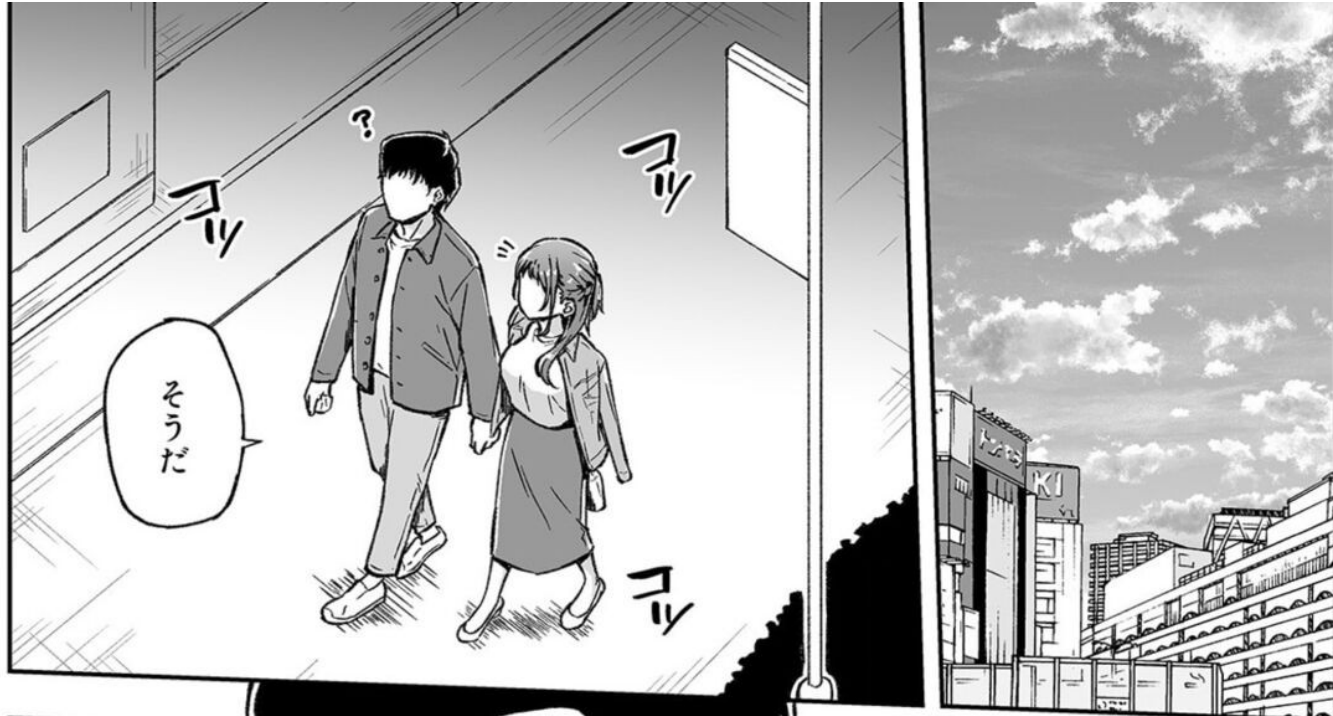


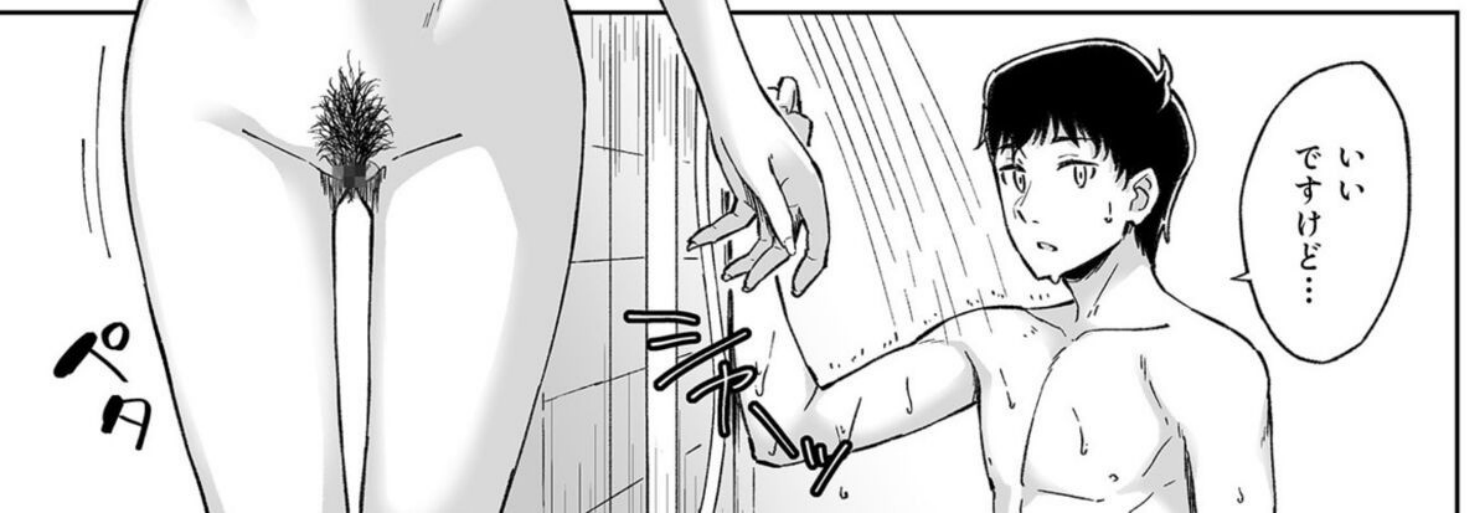
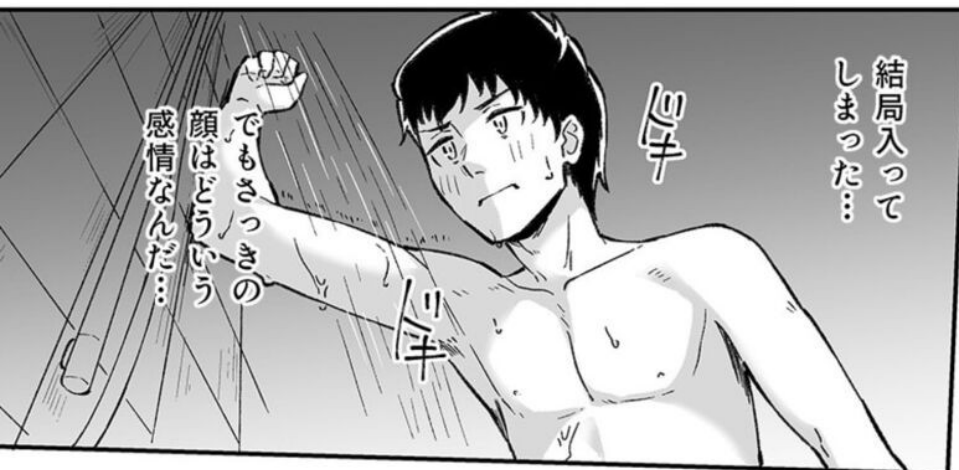


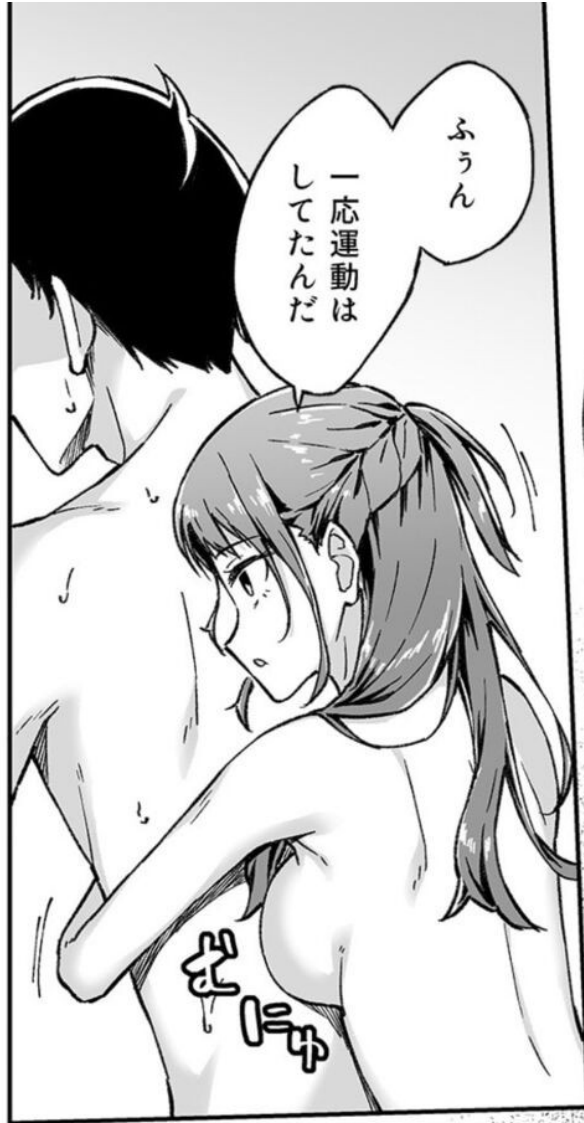












一応運動は
してたんだ

ふうん

ぜいっ



小森くんって
全然太って
ないよね

絶対私より
肉ないでしょ

卓球部だった
のでその筋肉が
残ってるから
ですかね…

ぴん

ぴん

ぴん



あいかわらず
胸の感触
凄いな…

どうか
したん
ですか…?

サワ



やっぱり
乳首さわると
いい反応

ピン

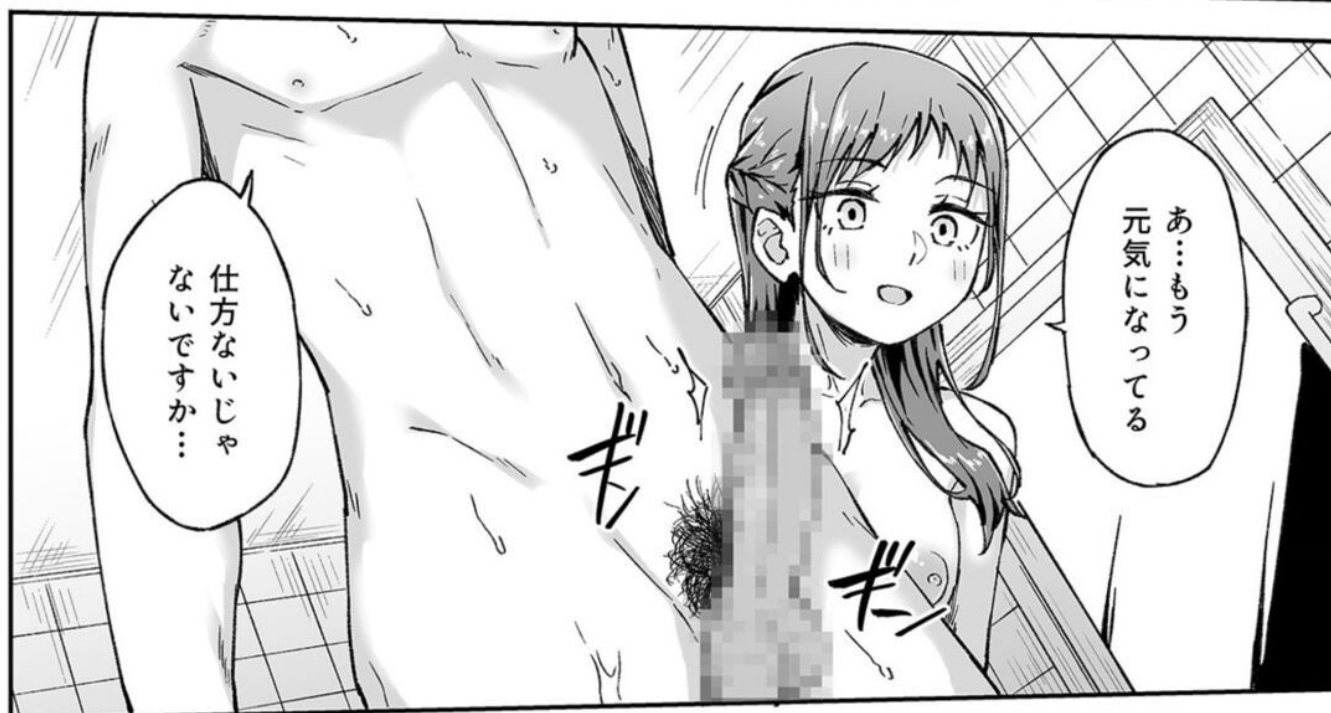
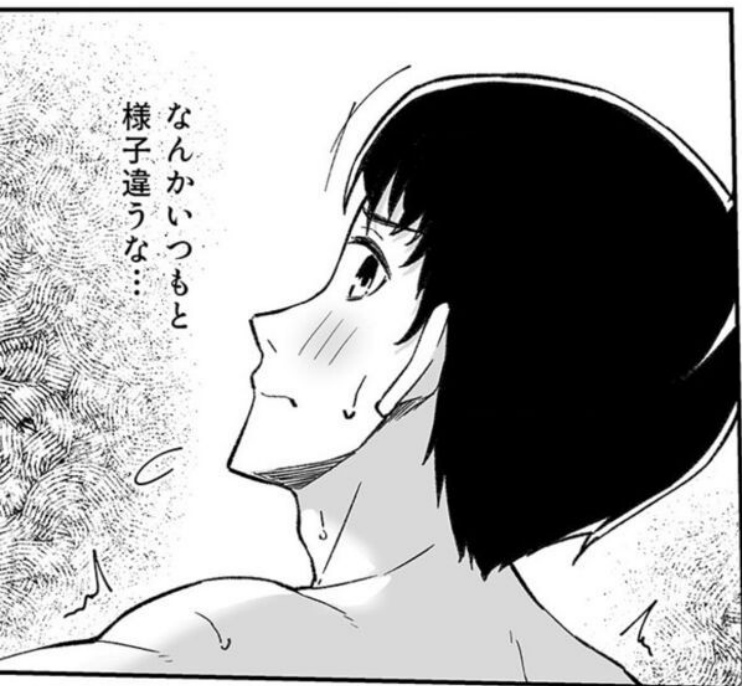
ピン



ちよっと!?

ピン

ピン







刺激が弱い分
じわじわ
気持ち良くなってる...

でもなにより
じれったい...



ぬるぬるだと
カリ首責めても
痛くないでしょ?

うッ...
ッ...あ!!



気に入った?

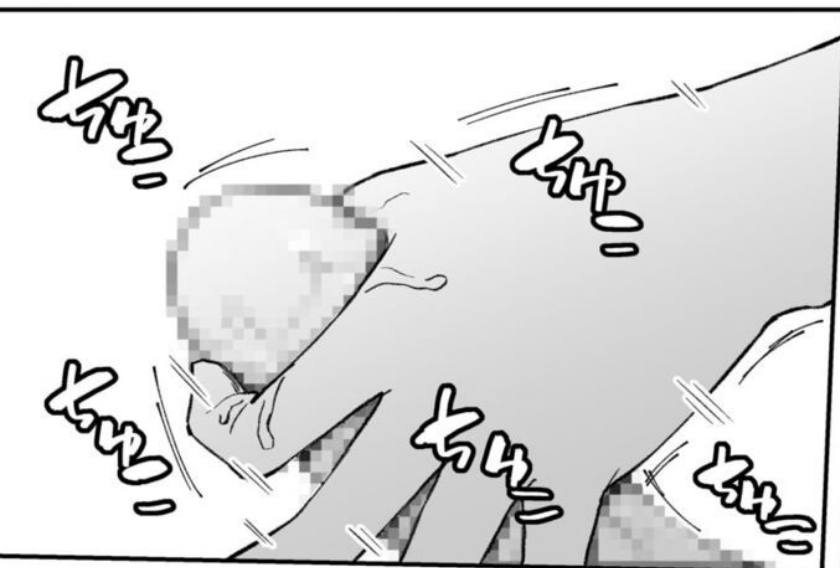
普通だと...
刺激...強すぎ
ですけ...ッど

これッ
ヤバい...です!

凄い
ビクビク
いってる

ダメで...す
って...すぐ
イキそ...うに







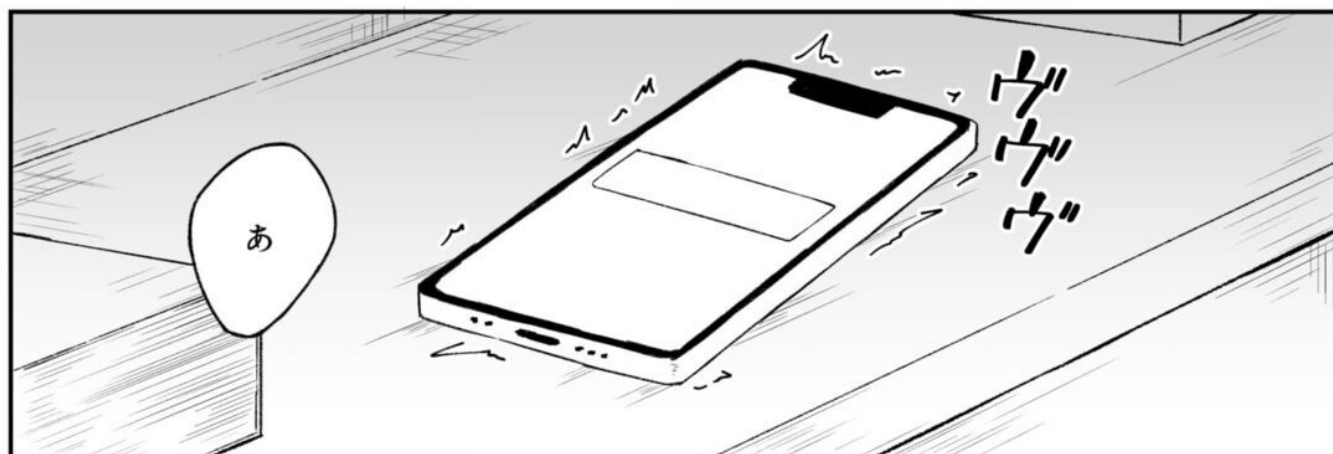


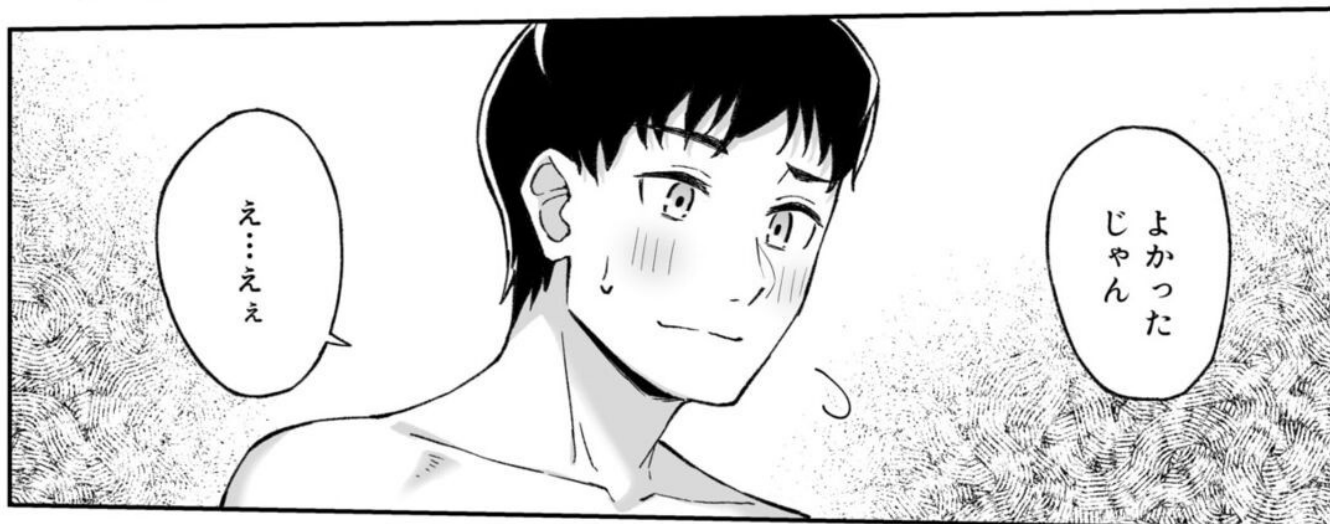












★この度は、本作をお買い上げいただき有り難うございます。
ご感想・ご意見等ございましたら、下記の住所までお送りください。

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-19-2-5F
株式会社プレステージ出版
「コミックス感想」係

皆様のお便りを心よりお待ちしております。

ひとはだフレンド(5)

著者/一色緑
発行/プレステージ出版

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネット
へのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

ウェブサイト・公式SNSで
最新情報をチェック!!



ウェブサイト



編集部公式X